#### JANOG49

国際的な標準化動向ウォッチのすすめ

- 活動の壁を乗り越える! -



みんなで 世界の動きをみていこうぜ!

というお話です。



世界とは?

おもしろい? (つづけられる?)

メリットは?

具体的に なにを?

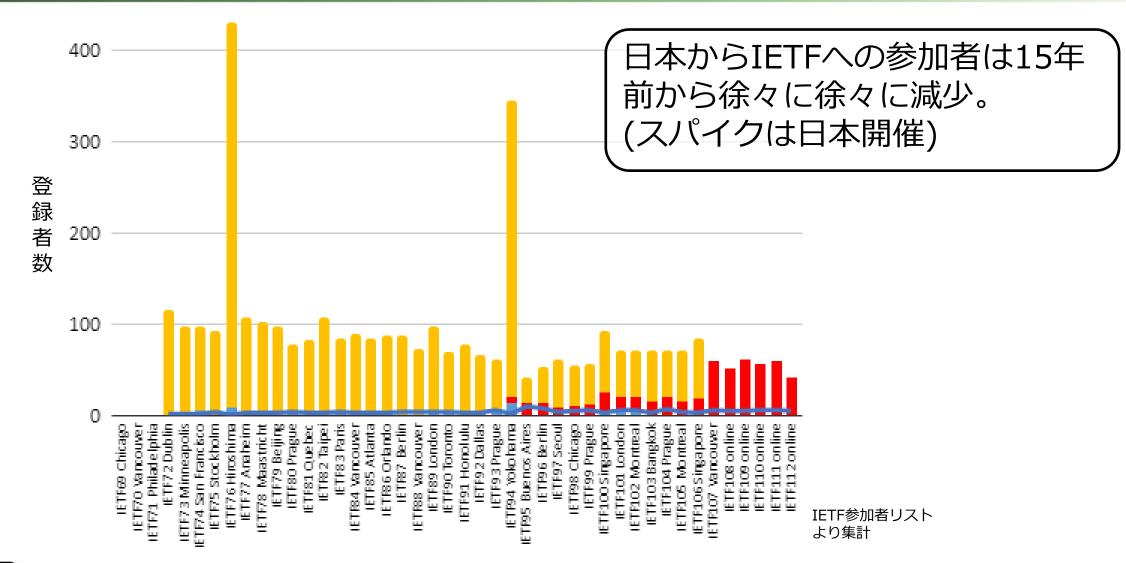


## 紐解くような 議論をしていきたいと思います!

是非、ご参加ください!



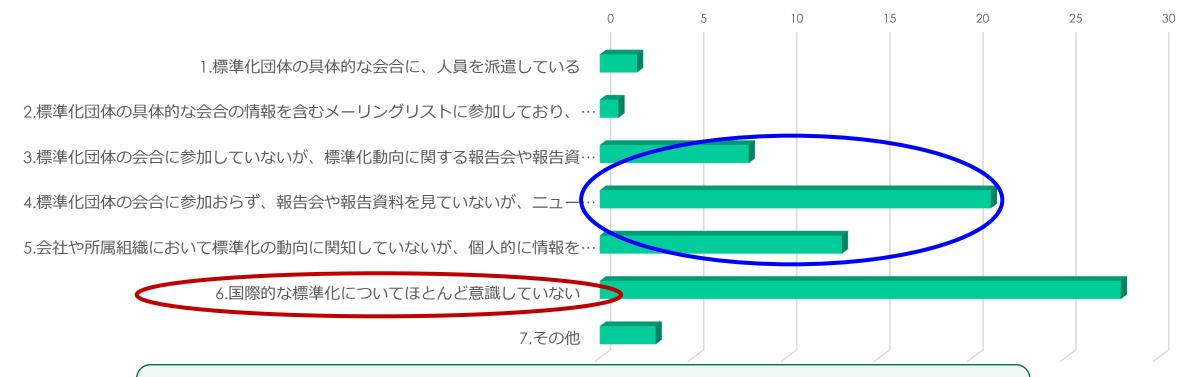
### 日本からIETFミーティングへの参加者数





#### 国際的な標準化活動の前にある壁...!?(1/2)

アンケート:「国際的な標準化団体(IETF、IEEE、ITU、ETSI、3GPP、W3C、CAブラウザフォーラムなど)での活動にどのように取り組んでいるか、ご自身の所属する組織やご自身のお考えに一番近いものをお知らせください。」

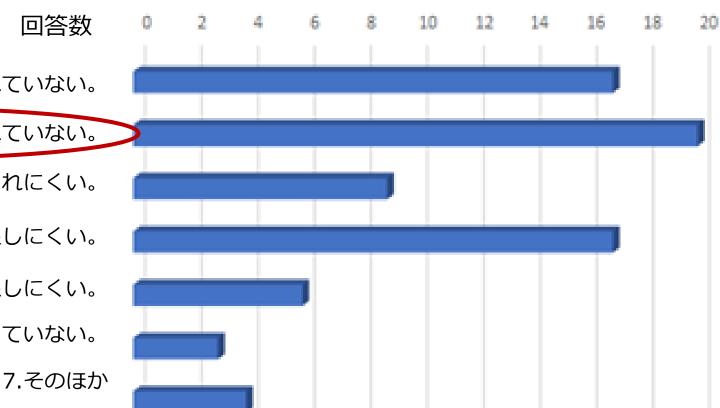


「ほとんど意識していない」が最も多い(37%)。ただ何らかの形で情報を入手しているという回答を合計すると56%となる。



### 国際的な標準化活動の前にある壁...!?(2/2)

国内の主に通信事業者を対象としたアンケートの結果" 所属組織における重要性の認知"の低さがみえてきた。



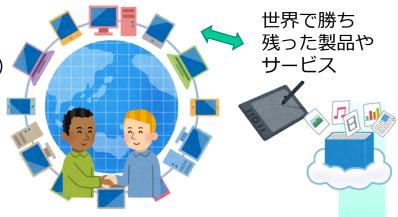
- 1.会社で標準化が認知されていない。
- 2.会社で標準化の重要性が認知されていない。
- 3.標準化の活動が成果として認められにくい。
- 4.継続的な参加のために時間を確保しにくい。
- 5.継続的な参加のための資金を確保しにくい。
  - 6.継続的な参加の必要性を感じていない。



### もしかして...

#### これまでの世界

- アーキテクチャ
- デファクト標準 (動作する実装)





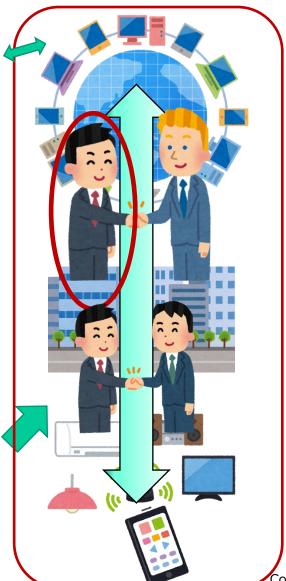


- **国内独自**の製品/ サービス
  - ⇒ 国際的な場では後追いで活躍しにくい。



- 我が国における ニーズにどう 応える?
- 得意分野を どう活かす?

#### 目指す世界



- アーキテクチャ
- デファクト標準 (使われる実装)

来り越える

- **国際視野**の製品/ サービス
  - ⇒ 国際的にも勝負できる。迅速に住み分けられる。仲間も増える。

Copyright © Japan Network Information Center

# 2021年3月5日(金) シンポジウム「情報通信アーキテクチャの今とこれから」より(1/2)

日本企業からの参加 者は残念ながら減少。 出張を伴わずに参加 できるというメリッ トも。審議時間の減 少によりスケジュー ルの延長が繰り返さ れている。

会議が日本時間の深 夜帯に開催され負担 に。中国勢の活発化。 質も大きく向上。各 団体に共通している ことでは? が理的ダイバーシーをどのように ではないでは、 をなプライバシー重 ではながりの中で利 ではなどとの兼ね合 いの着地点をどこに 置くべきか。



中野裕介さん(3GPP)



後藤良則さん(ITU-T)



下農淳司さん(W3C)

情報通信アーキテクチャの今とこれからを標準化活動の観点から考える(後編) https://blog.nic.ad.jp/2021/6192/



# 2021年3月5日(金) シンポジウム「情報通信アーキテクチャの今とこれから」より(2/2)

標準化のエクスパートの不足と高齢化。 技術者中心のため マーケティング、戦略的提案が弱い。 国際化文字列が扱える標準化に取り組んできたが、相互運用性に関する課題を感じる。検討を行える専門家がIETFに少ない。

規格や標準化動向の 複雑化。専門的な視 点と横断的な視点が 必要。専門家が限定 心要。専門家が限定 との間定化の傾向が。 知識獲得の時間、他 業務との両立が困難 で、会社の理解や評 価も重要。



眞野浩さん(IEEE SA)



根本貴弘さん(IETF)



佐藤雅史さん(ETSI)

情報通信アーキテクチャの今とこれからを標準化活動の観点から考える(後編) https://blog.nic.ad.jp/2021/6192/



複数の標準化活動を"またぐ"イベントをやってみた。



#### 複数の標準化活動を"またぐ"イベント

IETF111報告会 パネルディスカッション - 3GPP/モバイル -2021年9月3日(金) WebとWebトランス ポートに関わる標準化 動向勉強会 2021年10月15日(金) CA/Browserフォーラムに おける最新動向と国際的な トラストに関する勉強会 2021年10月22日(金)

「モバイルネットワークの 技術と使われるIETF技術 について」宮坂拓也さん (KDDI総合研究所) 「W3Cホットトピック」 下農淳司さん (慶応義塾大学/W3C慶応)

「IETFホットトピック -Webトランスポート関連」 後藤浩行さん (GREE) 「CA/Browserフォーラムに おける標準化の動向」 稲葉厚志さん (GMOグローバルサイン)

「WebPKIとトラストと ブランド」奥田哲矢さん (NTT社会情報研究所)

IETFとW3C

W3CとIETF

CA/Browser フォーラム



#### 複数の標準化活動を"またぐ"イベント

電子署名に関わる 標準化動向 勉強会 - ETSIとISO -2021年12月16日(木)

「電子署名に関わる国内の動き」 小川博久(株式会社三菱総合研究所、 日本トラストテクノロジー協議会)

「標準化活動に参加してわかった外から 見たイメージとの違い」 西窪健太(テクノシステム株式会社)

「標準化活動を俯瞰してみる」 佐藤雅史(JNSA電子署名WG サブリーダー(セコム株式会社IS研究所)) IETF112報告会 - 今年を振り返り 来年を予測する -2021年12月17日(金)

「WebとWebトランスポート関連」 後藤 浩行(GREE)

> 「SRv6MUP Architecture」 松嶋 聡(Softbank)

> > **IETF**



ETSI LISO

### 複数の標準化活動を"またぐ"イベント(予定)

IEEE SAおよびIETFにおける標準化と データリンク層に関する勉強会 -プライバシーに配慮したMACアドレスの ランダム化の検討状況とWi-Fiへの 影響ほか - 2022年1月28日(金)

「IEEE SAにおける標準化」眞野 浩さん (データ流通推進協議会)

IEEE SA LIETF

ITU-TとIETFにおける新しいアーキ テクチャに関する勉強会

2022年2月2日(水)

「ITU-T SG13における新たなアーキテクチャ に関わる話題と標準化活動」後藤 良則さん (NTTネットワーク基盤技術研究所)

「ITU-T SG13に関連しそうなIETF動向」 栃尾 祐治さん(富士通)

ITU-TとIETF



#### セッションの構成

#### イントロダクションと標準化団体について

さまざまな標準化団体で活躍されている方に、最近の動きや 「壁」について伺います。

#### ディスカッション

壁に何があるのか。それを"乗り越える"ために何が必要か。 もう一歩踏み込んで今後の標準化活動へのかかわり方につい て考察していきます。



時間	プログラム
10:05-10:15 (10分)	イントロダクション
10:15-11:55 (40分)	標準化活動における動きと"壁"
10:55-11:05 (10分)	パネルディスカッション
11:05-11:15 (10分)	参加者の方々とのディスカッション



## パネルディスカッション

3つのテーマで

## パネリスト



伊藤忠彦さん(IETF)



下農淳司さん(W3C)



栃尾祐治さん(ITU-T)



宮地直人さん(ISO)

ご発言は個人の見解によるものです。 所属組織を代表するものではありません。 国際的な動向に配慮の上で壁を"乗り越えた"先にあるものは何か

### 国際的な動向に配慮の上で壁を "乗り越えた"先にあるものは何か

ビジネスでないですか...

まずは世界標準を当たり前に使うこと。

次は世界標準を先導して行くこと。





### 国際的な動向に配慮の上で壁を "乗り越えた"先にあるものは何か

「どうやるのか」のみでなく、 「何故そのようなことが必要 なのか」のような事もわかる ようになる。

色々なケースへの**対応能力**が 上がる。 次世代のビジネスをリードしていくための基礎というのはそうですが、なんといっても自分たちの実情に合わせた機能が入ったものが共通基盤として利用されるという安心感ではないでしょうか





### 国際的に様々な人がいる中で、 私たちの強みは何か

# 国際的に様々な人がいる中で、私たちの強みは何か

世界的に見て決して小さくない日本市場を持つこと。

個人レベルでは**世界に通用する** 人材がいること。 国際標準化においては、各国の文化や法制度を踏まえて行われる。 日本の文化や法制度を踏まえて提案は積極的にすべき。

日本人は何だかんだ言って人数は 多い。その割にあまり意見を言っ ていない。日本での議論を持ち込 むことは尊重される傾向にある。





# 国際的に様々な人がいる中で、私たちの強みは何か

正直、あまりないと思っています。 大事なのは継続的な仲間づくり

(そもそも標準化活動のメリットは他社(キャリア・ベンダなど)とフランクな会話ができる場があるということなのですが...)

マイナー言語の中でもメジャーな一つでかつ欧米諸言語にないさまざまな課題に直面する言語としての日本語、また同様に多様な利用形態という側面での技術展開・発展





国際的な標準化活動に"壁"があるにも関わらず、参加もしくはウォッチ
すべきなのはなぜか

# 国際的な標準化活動に"壁"があるにも関わらず、参加もしくはウォッチすべきなのはなぜか

自社のサービスに反する標準になると困るので、それを防ぐ。

「仕様が間違っていると判断して 独自実装したら、**やはり自分が間 違っていた」を防ぐ**。 何が起こるかわからない(突然注目されることがある)

仕事柄、将来予測やロードマップ作成などを行うため。標準化活動は重要なインプット







栃尾 祐治さん(ITU-T)

## 国際的な標準化活動に"壁"があるにも関わらず、参加もしくはウォッチすべきなのはなぜか

国では日本が世界の技術レベルから遅れず**ガラパゴス化**しない為。

企業では技術を先導することで**製** 品競争力を高める為。

個人では**能力や人脈のキャリア**を 向上させる為。

#### 標準そのものがプラットフォーム

であり、いわゆるGAFAのようなのが作る基盤も似たようなものであるので、ビジネスを展開する以上それに依存せざるを得ないし、次世代のものにキャッチアップ出来ない





## ディスカッション

- Zoom/Slackより
  - 高齢化問題
  - あんまり難しい言語ではないと おもうけど、、
  - 標準化されたあとで、間違っている、ってなることもあるけど、 それもなぜダメかが議論、周知 されて訂正されるのもいい

• 会場より

## お持ち帰り情報

- ■世界とは
  - オンラインで参加できるところ。
  - YouTubeでみられる。(IETF)
  - 会員組織もある。(W3C)

- ■おもしろい?(つづけられる?)
  - 技術の背景知識が得られる。FloC、NIST他
- ・ 標準化団体の構造を知る必要がありそう。(ISO /宮地さん資料)

#### ■メリット

- その分野のトップの人と話せる(IETF)
- 新しい話題を深く知ることができる。M TN、FlexE他
- これまでにない技術を知ることができる。(ITU-T)
- いち早く製品に取り入れられる。(ISO)

- ■具体的になにを(検索キーワード)
  - "IETF 報告会"(IETF)
  - "W3C Highlights" (下農さん資料)
  - "JNSA 電子署名ワーキンググループ" (ISO)
  - "ISO 国内専門委員会" (ISO/宮地さん資料)
  - "日本ITU協会" "ITUジャーナル"



チャンネル登録を!

## JPNIC YouTubeチャンネルで標準 化活動とアーキテクチャに関する 勉強会の動画がみられます。

再生リストは 「標準化とアーキテクチャ」